

## 令和5年度 第2回医療介護連携推進委員会 会議録

### 1 日時

令和6年2月16日（金）13時30分から14時15分

### 2 場所

碧南市役所2階 会議室1

### 3 出席者及び欠席者

#### (1) 出席者（14名）

長田和久、小林正人、小田高司、中井敏子、金澤英俊、近藤真弓、中西知加子、加藤美紀、石川智宏、本多輝行、杉浦敬子、二宮伸建、縣恵美、中根千勢子

#### (2) 欠席者（1名）

池田史明

#### (3) 事務局

高齢介護課長 伊藤正博、高齢介護課課長補佐 杉浦洋子、介護保険係長 岡本東子、地域支援係担当係長 長澤貴行

### 4 傍聴者

0人

### 5 議題

#### (1) 在宅医療等の状況について

健康とくらしの調査結果、介護保険・福祉に関するアンケート調査結果等より〔資料1〕

#### (2) 令和5年度在宅医療・介護市民講座について〔資料2〕

#### (3) 在宅医療・介護連携推進事業について

令和6年度事業計画について〔資料3・別紙〕

#### (4) はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）の利用登録状況について〔資料4〕

#### (5) はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）を利用することができる施設等の承認について〔資料5〕

### 6 議事の要旨

#### (1) 会長あいさつ

皆様、お忙しい中、ご出席いただきまして有難うございます。能登半島地震の現地では大変な中、自助・共助で頑張っていると思います。仮に碧南市で発災した場合には、ここに見えるみなさんの力がかなり重要になってくると思われまます。この委員会において、医療と介護の両方を必要とする状態の市民の方に、切れ目のない在宅医療と介護の提供が行われるよう、保健、医療、介護、および福祉の連携、必要な事業を推進できるよう協議を宜しくお願いいたします。本日も、皆様の活発なご意見を頂きたいと思いまますので宜しく申し上げます。

#### (2) 議題

##### ア 在宅医療等の状況について

健康とくらしの調査結果、介護保険・福祉に関するアンケート調査結果等より〔資料1〕

・事務局から資料1により説明

A委員 ) アンケートの結果、「ACP」について知らない方が7割いても、言葉として「人生会議」や「ACP」が浸透していなくても、人生の最終段階をどのように過ごしたいのか、欠かせないことは何かということ話し合うことができていると思えば良いと思う。大切なのは、最終段階になった時にしっかりと話し合うことができているのではないかと自身として納得している。

B委員 ) 最終段階というのを一般の方が感じるの難しいことがある。何をもって最終段階とするのか等、医療職と一般の方にズレがあるかも知れないと感じることもあるため、その感覚の違いを埋めていくことも必要と思う。

イ 令和5年度在宅医療・介護市民講座について [資料2]

・事務局から資料2により説明

(質疑なし)

ウ 在宅医療・介護連携推進事業について

令和6年度事業計画について [資料3・別紙]

・事務局から資料3・別紙により説明

(質疑なし)

エ はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）の利用登録状況について [資料4]

・事務局から資料4により説明

(質疑なし)

オ はなしょうぶネットワーク（電子@連絡帳）を利用することができる施設等の承認について [資料5]

・事務局から資料5により説明

(承認)

・出席委員全員の賛成により承認。

(3) その他

ア 碧南市医療と介護ガイドマップ（令和6年1月作成）について周知（事務局より）

イ 令和5年度厚生労働省委託事業「在宅医療・救急医療連携にかかる調査・セミナー事業」におけるオンラインセミナーの実施について、別添資料により情報提供（事務局より）

ウ 次年度の予定・年2回（事務局より）